

# 会報

第 28 号 (2015/7/1)

広島県福山市木之庄町 4-3-14

Tel&Fax:084-917-5937

Mail:info@crcc-fukuyama.org



Community Renaissance  
Research Center

## 7月の予定



### 7月11日(土)14時 紙芝居と平和を考える会

- ・場所 ルネッサンス研究所集会所
- ・講師 小畑千博さん、大庭三枝さん、  
地域の絆の利用者さん、  
廣中敏弘さん、加納三千子さん
- ・参加費：500円

昨年当NPOで、日・英・仏の三カ国語の紙芝居「被爆アオギリ物語」を作製しました。被爆70周年の今年、各国語で紙芝居を見た後、平和について考えてみませんか。

日本語版を地域の絆の利用者さん、英語版を小畑千博さん、仏語版を大庭三枝さんに読んでいただきます。その後、戦争体験を地域の絆の利用者さんに、ヒロシマの加害と被害の歴史について廣中敏弘さん・加納三千子さんにお話していただきます。

FAXまたはメールで申し込んでいただければ幸いです

## 2015年度総会を開催



6月7日午後2時より、2015年度通常総会を開催し、2014年度の事業報告、活動計算報告、監査報告及び2015年度の事業計画と活動予算案が承認されました。

昨年度は産業観光ツアー、高齢者の「出来る」をつなぐ水やり、小物作りとバザーでの販売の取り組みなどのほか、紙芝居の発行記者会見を行い広く宣伝することが出来ました。また耐震診断関連では、これまでの耐震診断等評価委員会に加えて、建築物耐震補強工法説明会を実施しました。今年度も引き続きこれまでの事業を実施してまいります。

### 【講演】まちづくりとNPO法人

#### コミュニティルネッサンス研究所の役割

総会終了後、当NPOの安川代表理事により約1時間お話をさせていただきました。以下その概要です。

#### 1. 私たちはいまどいう時代に生きているのか

第二次世界大戦後アメリカを中心に経済は発展し、日本では高度経済成長の時代が始まった。しかし80年代以降、経済のグローバル化の進展とともに、高度経済成長を支えた日本の「ものづくり」システムは消え、海外に移っていった。21世紀には小泉内閣による規制緩和によって、経済のグローバル化はより一層進行する。

株や為替の投機相場システムが世界に浸透し「カネ」も「ヒト」も国境を越え、国家のコントロールが不能になった。

出生率は低下し、高齢者が急増。一人暮らしの高齢者も増加した。「家族」を支える日本型雇用システム(終身雇用・年功序列賃金・企業内福祉)が解体し、働く女性が増加した。これらによって、国民国家を構成する「家族」システムが機能不全を起し始めた。子どものケアの社会化の必要性、ケアの場としての「コミュニティ」の重要性が認識されはじめる。

経済成長や開発中心主義に対して、批判の経済学も登場する。

#### 2. これからの社会は

- ・「グローバルよりもローカル」、「競争よりも協力」、「物質よりも人間関係」を重視
- ・地域であつめた預金は地域に返すこと
- ・あらゆる生産活動は地域単位で実現されること

・労働時間の削減、ゴミの削減。再利用とりサイクル、そして再ローカリゼーション

こうした原則を実現するためには、地域に根ざした活動が重要である。

経済のグローバル化と、ケアの場であった家族の現実的な解体がすすむ中で、私たちの生活を守る場としての「コミュニティ」の重要性が増している。

### 3. コミュニティルネッサンス研究所の課題

「こうだった時代のなか、コミュニティという単位で、生活の再生産を行うことのできるシステムを自律的に構築することが、コミュニティルネッサンス研究所の課題である。

- ・ 生産の場としてのコミュニティ
- ・ 生活の場としてのコミュニティ
- ・ 子ども、高齢者のケアの場としてのコミュニティ

これらの課題をどう自律的に確保し、運営していけるのか、これからも皆で考えていきましょう。

講演終了後は例年のように、お茶を飲みながら会員相互の交流を深めました。



安川代表理事による講演



### 鯉まつり



5月10日(日)10時から仁伍広場にて地域の絆主催の鯉まつりが開催されました。お天気に恵まれ、青空に色とりどりの鯉のぼりが映えてとてもきれいでした。

鯉まつりに向けて事前に4月30日に地域の絆の利用者さんと小物作り講座を開催しました。今回は花びらを組み合わせるお花を作り、カゴの周りにレースと一緒に飾って出来上がり。春らしく仕上がりました。当日は利用者さんが売子さんをしていらっしゃいました。



小物作り講座  
花びらを組み合わせる  
のが難しいですね



小物づくりをした  
利用者さんも  
売り手に

ルネッサンスからは、スタッフ7名が参加し、リサイクルバザーと輪投げを出店しました。輪投げは用意した景品数を完売しましたが、リサイクルバザーの売り上げは下がってきていますので、次回のバザーでは新たな工夫を加えたいと思います。

地域の絆のスタッフさん手作りの「仁伍焼き」や、学生さんによる焼き菓子販売、ステージでは歌やダンスなど様々な団体の発表があり、大変賑やかでした。



輪投げ  
入るかな?!



学生さんたちによるダンス♪  
子どもたちも一緒に  
踊っていました

「都市農業を考える連続講座」  
「モンサントの不自然な食べ物」を見る会

このDVDはフランスのジャーナリスト、マリイ  
II モニク・ロバンにより製作されたものです。2008

年、この作品でレイチエル・カーソン賞※注1（ノル  
ウエー）他を受賞しました。農業大国フランスで  
150 年万人が観た、「食」ひいては「いのち」をめぐ  
るグローバル企業の実態を描いたドキュメンタリ  
ーです。これを教材にして、加納三千子（当会理  
事）講師による講座を5月16日（土）14時から  
開催しました。市立大学野菜クラブの学生さん  
を含めて、13名の参加でした。

（※注1）アメリカの生物学者で、1960年代にDDT  
による環境汚染問題を告発し、「沈黙の春」を発  
表。）

このDVDの構成は、モンサントの7つの大罪に  
ついて、モンサントの主張、次いでこれに対抗す  
る主張をする研究者の意見というふう構成さ  
れていました。

その7つの大罪とは以下の通りでした。

1. PCB

- ・ PCBは「カネミ油症事件」の原因物質。モン  
サントは毒性を知りつつ製造を続け、地球全体  
にこの発がん物質を蔓延させた。
- ・ モンサント社がPCBを埋めたアメリカアラバ  
マ州アニストンでかなりの被害が出ている。
- ・ この被害者に対して、保証金は支払われたが  
モンサントの役員は起訴されなかった。

2. 枯れ葉剤(オレンジ剤)＝ダイオキシン

- ・ ベトナム戦争でゲリラ対策に散布され、400万  
人がダイオキシンに曝露し、多数の奇形児が生  
まれた。
- ・ ベトナムの人々だけでなく、枯れ葉剤散布に  
従事していた米軍の退役軍人たちもデモでその  
被害を訴えていた。

3. 牛成長ホルモン

- ・ 肉や牛乳に残存し、アレルギーやホルモン異  
常、ガンを引き起こすと指摘されている。2008年に  
製造撤退。

4. 除草剤(ラウンドアップ)

- ・ 世界でもっとも恐れられた除草剤。発がん  
性・流産などの可能性があり、「安全」をうたつ  
た広告は虚偽と判決が出た。生分解性があり、  
環境にもやさしく安全だと宣伝していた。しか  
し生分解性がないことが明らかになって、その文  
言がラベルから削除された。

5. GMO大豆(ラウンドアップ・トレイ)

- ・ 南米諸国に、政治工作や謀略によって普及  
パラグアイでは反対する農民が政府に逮捕・殺  
害された例もあるとのこと。
- ・ ラウンドアップ・トレイの作物に散布する農薬  
では安全だと言われ、無防備に散布していたた  
め農民自身や近辺の住民に被害が出た。

6. GMOTマメロシ

- ・ メキシコで、紀元前<sup>5000</sup>年からの伝統種の遺伝  
子をGMO作物と交配汚染。生物多様性が破壊  
され、奇形種が発生している。この交配汚染はG  
MO作物最大の問題。

7. GMO綿花

- ・ インドで大キャンペーンを張って販売。しかし  
宣伝ほど収量が増えなかった。害虫に耐性があ  
るので農薬も少なくてすむと宣伝されていたが、  
害虫に耐性ができ、かえって殺虫剤の使用量は  
増えた。結果、高い種子を購入した数多くの農  
民たちの間で、借財の増加による自殺が続出。

交流の中で

遺伝子組み換え食品について、品種改良との  
違いがよくわからず、なんとなく身体に悪いと  
いう程度にしか認識していなかったが、怖いもの  
だとわかった。農薬を使用するメリットとデメリ  
ットを改めて考えたい。身近な食べ物なので怖い、  
安心な食べ物を手に入れたい。などの感想があ  
りました。





介護付きツアーをしました

【加納 三千子】

癌に起因する脳梗塞で認知症の出た 80 代の従姉が、生まれ育った三次に行きたいと言っていました。

なんとか希望が叶えられないものかと考えていましたら、ケア付きの旅行を企画してもらえるところを紹介してもらいました。



早速その旅行社にお願いして、京都から三次までの一泊二日の旅を計画してもらいました。宿は君田温泉。田舎からは親戚の者も合流して、二時間余りの夕食を賑やかにいただきました。ちょっとだけお酒も口にして、ピンク色の本当に良い笑顔で時を過ごしていました。

翌日は前日の雨も上がり、念願の尾関山に登り、シロツメクサのプレスレットを作ったり、ホテル袋やオオバコで童心にかえって遊びました。

帰りも京都に帰り着くまで「私は何もしていないから疲れていない」と座っていました。しかし翌日は「非常に疲れた。だけど、行けるかな？」

思っていたのが実現できたから、次またどこかに行こうね」と言っていました。

そして旅行前より語彙が増え、表情も明るくなっており、いくつになっても「何かをしたい」という想いを持つこと、「達成感」を持つことが大切なのだなあと思いました。



新委員長 都祭先生に

福山建築物耐震診断等評価委員長の南先生の後任を、福山大学工学部教授の都祭先生にお引き受けいただきました。

義倉からの助成金が



福山の安心・安全なまちづくりを考えるブックレット作成に、一般財団法人義倉から 10 万円の助成金を頂けることになりました。

編集後記



6 月は父の日に関連して日曜参観があるという学校が多いですね。私の住む地域では、参観に加えて、今回初めての小学校・幼稚園・地域の合同避難訓練と講演会がありました。災害から身を守るには、災害を理解する、地域の特性や危険性を知る、避難方法を考える、実際に避難してみる。そして、地域で助け合う、地域と密接な関わりをもつことが大切だというお話を聞きました。

子どもたちだけではなく、保護者・地域の皆さんと一緒に経験することが出来てよかったです。万が一災害が起きたときには最善を尽くせよう、普段から備えておきたいですね(原)

